

令和6年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

提案区	番号	項目	提案内容の概要	所管局	○：対応 △：一部対応
泉	1	「住みたい・住み続けたいまち 横浜」をPRするシティプロモーションの実施	1 関係区局によるプロジェクト等の体制を継続 2 横浜市版居住促進PRサイトの継続運用	政策局	○
泉	2	深谷通信所跡地利用基本計画の確実な事業推進、各局連携	1 地域住民に納得性の高い説明ができるように進捗管理、スケジュール調整等の事業全体のマネジメントの着実な推進 2 事業局間のスケジュール調整等、連携による円滑な事業実施 3 都市計画決定に向けた丁寧な地域説明及び事業費確保 4 管理委託契約敷地の適切な維持管理の実施	政策局	○
				健康福祉局	○
				環境創造局	○
				道路局	○
泉	3	河川環境施設の再整備	1 水辺愛護会等、地域と対話した再整備 2 区局が連携し、今後の予算規模や適切な維持管理が可能となる施設規模等の検討、持続可能な施設に再整備することによるファシリティマネジメントの推進 3 阿久和川の「まほろば」におけるGREEN×EXPO2027までの再整備	道路局	△
泉	4	都市計画道路整備の促進	1 区内の道路ネットワーク機能の強化及び小学生の安全対策を推進するため、権太坂和泉線(岡津地区)の残りの区間の早期整備 2 買収済用地を活用した歩行者安全対策の検討及び早期実施	道路局	○

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	政策局
------	-----

泉区		区政推進課	
担当者名	志澤	TEL	800-2331
共通区	全区		

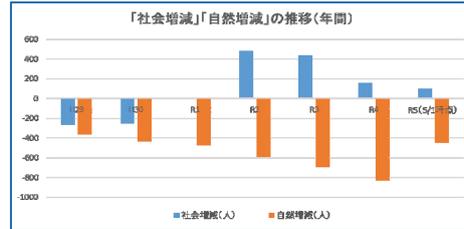
継続年数	2年
------	----

提案種別	制度関連
------	------

番号	項目
1	「住みたい・住み続けたいまち 横浜」をPRするシティプロモーションの実施

◇地域の課題、基礎データ等

1 現状
 (1) 人口減少
 ・ピーク時：155,725人(H22年)
 ・現在：150,952人(R5年7月1日時点)
 →約5,000人の減
 (社会増に転換してきているが、自然減の影響が大きい)



(2) 転出意向の割合増
 転出意向が増加傾向であるが、定住意向も増加傾向

	R3(%)	R4(%)	差(%)
定住意向	67.5	68.8	+1.3
転居意向	15.3	17.4	+2.1

※令和3年・令和4年市民意識調査(泉区)

年間	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5(5/1時点)
社会増減(人)	478	440	155	155	155	155	99
自然増減(人)	-361	-434	-467	-590	-692	-825	-446

2 課題

- (1) 若い世代に定住・転入の働きかけが必要
- (2) 区民の愛着心を高める取組が必要
 泉区の居住環境を含めた魅力のアピールが必要
 →他都市(神奈川県内、神戸市等)では横浜をターゲットにした移住促進が多い。

◇地域ニーズ等の収集手段

- 1 日常の窓口対応等
- 2 市民からの提案等
- 3 地区担当制
- 4 地域懇談会等
- 5 区民アンケート
- 6 区民要望
- 7 関係団体からの要望
- 8 その他()

◇区民からの具体的な要望

区がプロモーション本部を立ち上げ、ブランドイメージを向上していく姿勢は今までの泉区にない活動であり期待している。地域にとっても活性化の好機であると感じている。特に若い世代に「住むなら泉区」と実感してもらい、転入・定住につなげて、活力あふれる地域をつくってもらいたい。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

泉区では、令和5年度泉区運営方針基本目標の「みらいへ進もう！地域とともに #住むなら泉区」における目標達成に向けた施策1「とどげよう！いずみの魅力」に基づき、「定住・転入促進事業」を実施しています。前述の平成22年をピークに減少する人口の状況を踏まえ、平成29年度に事業化されました。区内外の若い世代に泉区を知ってもらい、「居住地としてのブランドイメージの定着」や「区民の愛着心の向上」を図り、定住・転入の促進につなげることを目指しています。

◇提案内容・概算額等

人口減少などの課題に対して、居住地としての魅力のPRを行っている郊外区等と、政策局及び関連局による連携の継続を希望します。R6年度に向けては、市の特設サイト構築後の現状・課題を各区と共有し、効果的なPRとなるよう今後の方向性について議論を進めたいと考えます。

【具体的対応】

- ①関係区局によるプロジェクト等の体制を継続
 区局それぞれが持つ課題やPRの実績・ノウハウ等を共有し、局によるスケールメリットを生かし相乗効果を図るなど、市として一体的に「住みたい・住み続けたいまち横浜」のシティプロモーションを推進します。
- ②横浜市版「居住促進PRサイト」の継続運用
 PRサイトについては、市内外への周知を継続するとともに、適宜サイト構成等の効果検証を行いつつ、ターゲットに横浜市の魅力がより伝わるよう、居住にかかる各ライフイベント(就職・転職等)を的確に捉えた継続運用が必要と考えます。

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	政策局広報戦略・プロモーション課
------	------------------

◆局回答内容

政策局		広報戦略・プロモーション課	
担当者名	関戸	TEL	671-3680

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 関係区局による検討体制を継続するとともに、市の「横浜移住サイト」の継続運用に向け、所要額を令和6年度予算に計上します。
	◇課題に対する局の考え方
対応しない場合	◇対応する場合の課題

◆局回答内容

政策局		基地対策課	
担当者名	今野、中道	TEL	671-4002

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 事業実施に向けた全体調整及び国有地の取得に向けた調整を行います。 暫定利用に関する運営・維持管理を行います。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

健康福祉局		環境施設課	
担当者名	吉田、宮本、 廣田	TEL	671-4387

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 環境影響評価手続等、都市計画決定に向けて、引き続き必要な手続き、調整を進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

環境創造局		公園緑地整備課	
担当者名	内山	TEL	671-4611

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 都市計画決定に向けて手続き等を着実に進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

道路局		企画課	
担当者名	関野、植月	TEL	671-2777

対応の有無	対応する
対応する場合	◇対応の内容 都市計画決定に向けて、関係機関等と協議、調整を進めます。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方 ◇対応する場合の課題

令和6年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

泉区		泉土木事務所	
担当者名	澤	TEL	800-2536
共通区	14区（鶴見区、神奈川区、港南区、保土ヶ谷区、旭区、磯子区、金沢区、港北区、緑区、青葉区、都筑区、戸塚区、栄区、瀬谷区）		

継続年数	新規
------	----

提案種別	
予算関連	

番号	項 目
----	-----

3	河川環境施設の再整備
---	------------

◇地域の課題、基礎データ等

- 阿久和川、和泉川、いたち川など横浜市が事業を進めている河川や川の源流などの水路においては、これまでに数多くの河川環境施設の整備が進められ都市における貴重な水辺空間となっており、地域コミュニティの形成に役割を果たすとともに子供の学びの場となるなど多くの市民に親しまれています。
- しかし、整備から25年以上が経過した施設では老朽化が著しく、機能を十分に発揮できていない箇所があります。
- 再整備にあたっては施設規模、配置、整備後の維持管理への配慮など、施設の持続可能性を確保する必要があります。

- 【中期計画】
- ・テーマ02—戦略2—政策9『地域コミュニティの活性化』
 - ・テーマ04—戦略7—政策31『自然豊かな都市環境の充実』
 - ・テーマ03—戦略9—政策38『公共施設の計画的・効率的な保全更新』

◇地域ニーズ等の収集手段

- | | | | |
|--|--|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 | <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 | <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 |
| <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート | <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 | <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 | |
| <input type="checkbox"/> 8 その他（ | ） | | |

◇区民からの具体的な要望

長期間にわたり閉鎖状態になっているため、「いつになったら水辺で子どもたちを遊ばせることができるのか」などの問い合わせ、要望があります。

◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置付けられているものはその旨記載してください。

阿久和川の集いのまほろば（河道内）に設置された木製デッキについては小規模修繕を行い、区民利用の継続を図っているが、大規模な修繕が必要な箇所にあたっては利用者の安全性確保のため使用禁止措置を行っています。

◇提案内容・概算額等

- 施設の維持管理を行う現場の職員だけでなく、地域で長年にわたり活動しているボランティア団体の意見も反映し、再整備します。
- 区局が連携し、今後の予算規模等を踏まえた適正な維持管理が可能な内容、規模等を考慮した持続可能な施設に再整備し、ファシリティマネジメントを推進します。
- 阿久和川のまほろばについては、GREEN×EXPO2027までに完成・供用します。

また、再整備までの間も必要な小破修繕を実施し、区民利用を継続します。

【概算額】
阿久和川まほろば等 再整備設計検討費 ████████千円(泉区、共通区合計額)

◇参考：区執行体制上の課題

現行の体制で対応

◇所管局

所管局課	道路局河川企画課、河川事業課
------	----------------

◆局回答内容

道路局		河川企画課、河川事業課	
担当者名	広井（河川企画課） 上原（河川事業課）	TEL	671-4215（河川企画課） 671-3988（河川事業課）

対応の有無	一部対応する
対応する場合	◇対応の内容 市内に点在する河川環境施設の再整備について、関係区局と連携して取り組みます。河川環境施設の基礎調査及び基本構想の策定に必要な調査設計を行います。
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	◇対応する場合の課題

